

# 幸手・久喜 RC 合同例会

第 2612 回 2023.2.16

於：久喜徳寿庵





## 会長挨拶 関裕 会長

---

皆さんこんにちは。

今年度、幸手ロータリークラブ会長を務めさせて頂いている関裕と申します。

今年度第50代服部会長の下、シン・ロータリー持続可能なクラブをつくろう～すべては、

メンバー同士の信頼と親睦をもとに、久喜ロータリークラブが楽しくなるために～

と言うスローガンを掲げ、日々頑張っておられるメンバーの方々と一緒に例会、そして懇親を深められる機会が訪れたことに感謝いたします。

さて、私事ですが今年度、幸手市の総合振興計画審議会委員に委嘱され、明日第2回目の会議に参加する予定です。総合振興計画とは市の最上位計画であり、市政運営を行うためのまちづくりの基本計画です。

その計画案に目を通した際の印象ですが、期待する未来像や問題点のあぶりだしなどは市民と行政との合同ワークショップなどを通じ適切な抽出が出来ていると思われませんが、それに対する施策の内容や成果指標などは少し行政の都合が見え隠れしているように感じました。

また、一番の違和感は『幸手市の計画』だという考えなのかもしれませんが、近隣の市や町との関係については全く触れていないと言うことです。より良い未来、そして今以上に住みやすい街を考えるときに、幸手市だけを考え、周りの市や町に対しての連携を考えない方がおかしいのではないのでしょうか。

例えば大規模な施設の老朽化に対し、果たしてそれを幸手市だけで建て直すべきなのか？

近隣施設と機能の互換は出来ないものか？ そのような検討が、私は必要だと感じました。

ロータリーも同じ事が言えます。

例えば指導力の研修をクラブ独自に行おうとすれば、指導者の育成、指導内容の検討などかなりの労力になりますが、地区のRLI研修に参加することで一定の効果を素早く得ることが出来ます。

青少年交換などもクラブ独自で行うことは難しいですが、地区のプログラムのお陰で事業を行うことが出来ます。

行政ももう少し、行政間の繋がりを密にする事が大事なのではないのでしょうか。

そして、この繋がりをより良いものにするために必要なのが、親睦という信頼・友情を深める手段です。いくら共同で事業を行おうとしても、信頼が無ければ前に進みませんし、友情がなければ悪いことの押し付け合い、成果の取り合いが起こることが目に見えます。

今後、行政の広域化は人口減少社会において避けられないものだと思います。

まず我々ロータリアンが先駆けとして、お互いの信頼と友情を今以上に深め、地域社会の今後に明るく豊かな未来を築きましょう。

最後になりますが、ここにご参集の皆様のご活躍及び設営をして頂いた久喜ロータリークラブの皆様にご感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

後となりますが、ここにご参集の皆様のご健康とご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

# 久喜 RC・幸手 RC 合同例会プログラム

日 時： 令和5年2月16日（木）

会 場： 徳寿庵

司会 久喜 RC

1. 点鐘（開会） 久喜 RC 会長 服部智也
2. ロータリーソング（奉仕の理想・我らの生業）
3. お客様紹介 久喜 RC 幹事 横山健次  
幸手 RC 幹事 谷野友昭
4. 会長挨拶 久喜 RC 会長 服部智也／幸手 RC 会長 関 裕
5. 幹事報告 久喜 RC／幸手 RC
6. 委員会報告 久喜 RC／幸手 RC
7. 出席報告 （出席奨励委員長）久喜 RC 出席率 100%
8. スマイル報告 （SAA） 久喜 RC／幸手 RC
9. 点鐘（閉会） 久喜 RC 会長 服部智也

## 【懇親会】

司会 久喜 RC

1. 開会 親睦委員長
2. 乾杯 久喜 RC \_\_\_\_\_
3. ご挨拶 ガバナーエレクト 梨本松男様
4. 歓談 名刺交換、50周年 PR、報告事項、会員スピーチ各2名ずつ
5. 所感 久喜 RC \_\_\_\_\_／幸手 RC \_\_\_\_\_
6. 閉会 中締め 幸手 RC \_\_\_\_\_／大締め 久喜 RC \_\_\_\_\_